



1 スタートのようす 2 ゲストランナーの柏原竜二さんと西谷綾子さん ゴール付近で記念撮影  
3 くまモンとくまチャピンも生家前で応援 4 選手宣誓のようす 5 金栗生家前を走るランナー



# 第35回金栗四三翁マラソン大会



11月1日、金栗四三のオリジナルフレーム切手の贈呈式が行われ、日本郵便九州支社 高手義彦支社長から高巣町長に手渡されました。これは、和水町出身の金栗四三が来年のNHK大河ドラマ「いだてん〜東京オリンピック囃し〜」の主人公として選ばれたのを記念し、地元である玉名地域を盛り上げるために、日本郵便九州支社が企画したものです。切手は、五輪選手当時の写真や和水町にある生家を題材に、11月1日から県内の郵便局（一部の簡易郵便局を除く）で発売されています。

## 金栗四三 オリジナルフレーム切手が発売



切手フレームを手にする高巣町長と高手支社長（右）

日本人初のオリンピックピック選手であり、箱根駅伝の創設にも尽力した故金栗四三氏を顕彰する「第35回金栗四三翁マラソン大会」を11月4日（日）に開催しました。  
今大会には、町内外約2千人のランナーが集い、秋晴れの空のもと「金栗四三生誕の地」を駆け抜けました。また、ゲストランナーとして、富士通株式会社所属の柏原竜二さんとオスカープロモーション所属の西谷綾子さんをお招きし、大会を盛り上げていただきました。  
沿道には多くの人が集い、ランナーを応援。沿道に立てられたかかしもまるで一緒になって応援しているかのようでした。  
今年からリニューアルした10キロコースは、金栗生家前を通るコースでアップダウンが激しいコースでしたが、他のマラソン大会では味わえないコースだと好評でした。  
なお、大会の記録・写真などについては、和水町ホームページおよび金栗四三翁マラソン大会ホームページにも掲載しています。  
問い合わせ先  
社会教育課 社会体育係  
☎0968・34・3047

